

学校名： 飯塚市立小中一貫校 穎田校 中学部 授業者： 柴田 康弘

教材作成者： 柴田 康弘

授業日時	平成 27 年 1 月 29 日 (木)	教科・科目	社会科 (地理的分野)
学年・年次	第 1 学年	児童生徒数	19 名 (男 11 名, 女 8 名)
実施内容	ヨーロッパ州	本時 / この内容を扱う全時数	2 / 4
教科書及び教科書会社	帝国書院「中学生の地理」(pp. 58-68.)		

<p>授業のねらい (本時の授業を通じて児童生徒に何を身につけてほしいか、この後どんな学習につなげるために行うか)</p> <p>国によって様々な違いがありながらも、EU によって大きなまとまりを保持しつつ、世界に大きな影響力を与えていることを、身近なもので“たとえ(メタファ)"]”しつつ説明する活動を通して、ヨーロッパ州の地域的特色を理解(自ら構成)させる。</p>
<p>メインの課題 (授業の柱となる、シグソー活動で取り組む課題)</p> <p>「〇〇の視点から見ると、□□なヨーロッパ州」の形式でつくられたキャッチコピーの要素をもとに、「ヨーロッパ州はまるで〇〇のような地域だ!」のように“たとえ(メタファ)”, その理由と合わせて説明する。</p>
<p>児童生徒の既有知識・学習の予想 (対象とする児童生徒が、授業前の段階で上記の課題に対してどの程度の答えを出すことができそうか。また、どの点で困難がありそうか。)</p> <p>生徒はヨーロッパ(の国々)について、テレビ等を通じて「豊か」「オシャレ」「大国が多い」など、どちらかと言えばプラスのイメージを形成している。国名、自然環境の学習を終えた本時(全5時間中の2時間目)の学習では、特に、3つの視点からの具体的なヨーロッパの姿を基に、何かに“たとえ”て表現することで、ヨーロッパ州のイメージをさらに深めつつも、自分なりの地域像を構成することをねらっている。「まるで〇〇のようだ!」という、“たとえ”の事例をどのくらい持っているかが、学習成立に影響しそうであるが、生活経験を含め、自分の知っているに何かに引きつけつつ理解を促したい。</p>
<p>期待する解答の要素 (本時の最後に児童生徒が上記の課題に答えるときに、話せるようになってほしいストーリー、答えに含まれてほしい要素。本時の学習内容の理解を評価するための規準)</p> <p>例) まるで、「ルービックキューブ」のようだ。なぜなら、民族や歴史や格差など、国ごとにいろいろな色(個性)を持ちながらも、一つもまとまろうとしているから。</p> <p>他者にとっても理解可能な別の“何か”に例えつつ、多様な要素を含み込みながらも、EUの枠組みでまとまろうとしているヨーロッパの特色を説明できる。</p>
<p>各エキスパート<対象の児童生徒が授業の最後に期待する解答の要素を満たした解答を出すために、各エキスパートで抑えたいポイント、そのために扱う内容・活動を書いてください></p>
<p>エキスパートA：文化と歩み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宗教, 言語, 生活習慣など各国で多様性を持ちながら, 対立・戦争を経た後は, アメリカや日本などに対抗するために, 結びつきを強めたことを説明できる。 <p>エキスパートB：産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然環境に合わせた農業, アメリカや日本に対抗するため, 航空機を始めとする工業や先端技術産業の面で協同を行っていること。さらに, そ

<p>の一方でそれぞれ独自の伝統も大切にしていることを説明できる。</p> <p>エキスパートC：EU（ヨーロッパ連合）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭い地域に多くの国が集まり様々な面で多様な特色をもつヨーロッパでは、EUによる枠組みでの統合によって、移動の自由化・共通通貨の導入などにより、地域としての結びつきを強めていることを説明できる。 <p>※いずれも、日常的な協同学習の実施を目指して、教科書を活用した学習とする。</p>
<p>ジグソーでわかったことを踏まえて次に取り組む課題・学習内容</p>
<p>ヨーロッパ州，EUの負の側面や今後の課題について考察する。</p>

本時の学習と前後のつながり

時間	取り扱う内容・学習活動	到達して欲しい目安
これまで	<p>単元「世界の地域構成」における，州の区分，国名，気候区分などに関する知識の習得。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的分野の学習の座標軸となる知識としての，世界の州区分・特に我が国と関わりの深い国名を白地図上で指し示すことができる。
前時	<p>ヨーロッパ州の学習前のイメージを，説明する。</p> <p>ヨーロッパ州の自然環境(国名，地名，地形，気候)について，白地図に整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習前のヨーロッパ州についての自己の知識やイメージを，文章またはキーワードで説明できる。 ・地図帳などを活用して，ヨーロッパ州の特色ある自然環境の様子を，白地図に整理できる。
本時	<p>エキスパート活動 A：文化と歩み，B：産業，C：EU</p> <p>ジグソー活動・クロストーク活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各担当の内容をグループ内で説明 ・「ヨーロッパ州は，まるで〇〇のようだ！なぜなら・・・」の形で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジグソー班で，担当エキスパートの内容を説明できる。 ・ヨーロッパ州の地域的特色を，エキスパートA・B・Cの3視点から総合的に説明できる。
次時	<p>ヨーロッパの抱える課題について考察する。</p> <p>域内格差，政治的な考えの隔たりなど</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・EU統合の負の側面についても目を向けさせ，今後の動向や我が国との関わりを考え続けようとする。

上記の一連の学習で目指すゴール

多様な文化や歴史，気候など異なる側面を持ちつつも，アメリカや日本などの大国と対抗するために，EU（ヨーロッパ連合）の枠組みでまとまったヨーロッパでは，人やモノ，お金などの移動が容易であり，各国の協同によって世界的な影響力を持つようになった。その一方，統合にはマイナス面もあり，今後の動向が注目される。

本時の学習活動のデザイン

時間	学習活動	支援等
5分	① 前時までの学習を想起し、本時の課題(問い)、活動内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の活動を簡単にふり返るとともに、各自の役割を確認させる。 ・本時の学習のゴールと過程を明示し見通しを持たせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>課題(問い) ヨーロッパ州の地域的特色を、ジグソー学習によって明らかにしよう！</p> </div>		
10分	② エキスパート活動 A：文化と歩み B：産業 C：EU	<ul style="list-style-type: none"> ・エキスパートのプリントは事前に配布し、個人作業として取り組ませておく。 ・活動時間をあらかじめ示しておき、時間を管理する。 ・ワークシートの問いの答えをもとに、簡潔なキャッチコピーとして表現させる。
15分	③ ジグソー活動 ジグソーグループで報告し、他者に簡潔に説明するために、「まるで○○のようだ」の形で表現させる。 ・全6グループ (時間配分) 各エキスパートごとに説明 3分×3 “たとえ”文の作成 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでのまとめ内容は、ホワイトボードに書かせ、全体に見えるように掲示する。
15分	④ クロストーク活動 各グループでのまとめ発表	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかのグループに発表させる。
5分	⑤ 課題(問い)について、各自でまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前後でのヨーロッパ州のイメージを比較させ、学習の成果を確認させる。

グループの人数や組み方

ジグソーグループ

3人×5班, 4人×1班

エキスパートグループ

A：6人, B：6人, C：7人